



港南小学校 学校だより

7月号

二十四節気・七十二候

<7月の二十四節気>

- ・7月7日 小暑
やや暑熱を催す
- ・7月23日 大暑
蒸暑酷暑を感ず

<7月の七十二候>

- ・半夏生
はんげしょうず
→鳥柄杓が生える
- ・温風至
あつかせいたる
→暖かい風が吹いてくる
- ・蓮始開
はすはじめてひらく
→蓮の花が咲き始める
- ・鷹乃学習
たかすなわちわざをならう
→鷹の幼鳥が飛ぶことを覚える
- ・桐始結花
きはじめてはなをむすぶ
→桐の実が生り始める
- ・土潤溽暑
つちうるおうてむしあつい
→土が湿って蒸し暑くなる

校長 船木 亮作

早いもので一学期も残りひと月となりました。六月には緊急事態宣言が再延長され、様々な制限も延長されました。例えば、家庭科では調理実習が出来なかったり、音楽科では、リコーダーなどの演奏が出来なかったりする状況が続きました。そんな中、ICTを活用して授業を工夫したり、単元の入替えを行ったりするなどの工夫をしてきました。今後、ワクチン接種も進み、早く制限が緩和されることを願うばかりです。

現在の情報化社会において求められる能力は「知識・情報をもっている」という能力ではなく、その能力や情報を活用して「自分で考え、持論を展開できる力」が必要であることを認識することが大切です。つまり、知識や情報をインプットすることよりもそれを活用して自分の考えをアウトプットできるかです。言い換えれば、どんな情報に触れても、それに対して必ず自分の考えを述べる事が出来る力があるかどうかということです。子供たちは、タブレットが配布されたことにより、今まで以上に情報をインプットすることが容易になりました。しかし、このような情報は今後も、簡単に検索すればわかることです。ですから、これからはインプットした情報にいかに関心を持って自分の考えを述べる事が出来るかが大切になってきます。それこそが、これから求められていく人材だと考えます。その基になるのが「協働的な学び」です。現在、スクールタクトというアプリを活用して、一人一人の考えを書き込んだり、考えを共有して相互評価したりしています。他の人の考えに触れることにより、より自分の考えを深めています。また、高学年になるとよく新聞を読むことを推奨されます。子供たちは何をどのように読んでよいかかわからず、すべてを読もう

として徐々に飽きてきてしまっています。そのようにならないためには、最初のうちは読むテーマを絞ることです。その際、自分の興味関心に従って読めばよいのです。そして、その記事を読んで「そうなんだ」で済まらず、「そうなんだ、では自分はどう考える」と常に自分の考えを添えることを習慣化させることです。すると「この部分が分からない」と自分の意見が言えない」ということが起こってきます。そこを調べてまた自分の意見を考える。そこで、また知識・情報の壁にぶち当たって、さらに調べて考える。これを繰り返すプロセスこそが自分の考えや独自性を生んでいきます。そして、この作業を繰り返していると自然と知識・情報がどんどん増えていきます。そうすると必然的にアウトプットする質が上がっていきます。

先日、プログラミング教育に繋がる「10」という教材の体験をしました。これは、スクラッチに繋がる初段階の教材です。私自身体験する中で、うまくいかない場面が何回もありました。その際、この失敗こそが大切であると言われました。それは、うまくいかないため、「なぜだろう」「どうしたらいいのだろう」と何度も考え、うまくいくまでやってみようとする行動にあると言っています。この「なぜ」の繰り返しにより、学びを深掘りしていく手法が身に付いていくこともこの教材の大切な点だと言われました。この「探究心」をもてることもこれから求められる人材となると考えます。

最後に七月二十一日から四十二日間の夏季休業に入りますが、九月一日に全ての子供たちが元気に登校してくれることを願っています。

■水難事故防止

六月下旬より水泳学習を開始しましたが、例年に比べて水中での動きに慣れているとは言えません。毎年、水辺の事故により多くの子供たちが命を落とされています。ご家庭で水辺に出掛ける際は、危険を予測し、回避するようぜひお声掛けください。



■学校の決まり再確認

忘れ物等の理由から放課後に学校を訪れる際は、保護者の方と一緒に来る約束になっています。一部ですが、子供だけで取りに来る事例があります。七月から再度約束を徹底します。安全上の観点から子供だけでは放課後に校内に取りに来ることはできませんので、ご家庭でもご確認いただけたらと思います。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南 4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500



港南小学校 Twitter



8月の主な行事予定

- 2日 (月) 夏季水泳 (4年)
- 3日 (火) 夏季水泳 (3年)
- 4日 (水) 夏季水泳 (5,6年)
- 5日 (木) 夏季水泳 (2年)
- 6日 (金) 夏季水泳 (1年,わかば)
- 7日(土)～20日(金)閉庁期間
- 23日 (月) 夏季水泳 (4年)
- 24日 (火) 夏季水泳 (3年)
- 25日 (水) 夏季水泳 (5,6年)
- 26日 (木) 夏季水泳 (2年)
- 27日 (金) 夏季水泳 (1年,わかば)
- 28日 (土) クリーン作戦
- 31日 (火) 夏季休業日終

17日(火)～18日(水)
夏季学園Ⅰ期(5年)

18日(水)～19日(木)
夏季学園Ⅱ期(5年)

19日(木)～20日(金)
夏季学園Ⅲ期(5年)

☆始業式・引き渡し訓練について☆

9月1日(水)【土曜時程】始業式(8:30～)、
幼小中合同引き渡し訓練(10:15～)

※10:15～11:30の間に引き取りに来ていただきます
ようお願いいたします。(詳細は後日ご連絡いたします。)

副校長より

教室を回って子供たちの様子を見ています。どの子も頑張っている姿に「もっと良くなって欲しいな」「こうするともっといいのにな」という老婆心から「名前書いてないよ」とか「座る姿勢は、机とお腹の間を拳一個分空けるといいよ」とか「教科書は表紙の線でピシッと折っておくと、勉強しやすくなるよ」などと話しかけることがあります。素直に聞き入れてくれる子がほとんどですが、怪訝な顔をする子や「はあ?」や「別にいいじゃん」という子などもあります。「そうくるか」と思うこともあります。「いいことあるから言ってるんだけどなあ」とつぶやきつつその場を去ります。無理強

いはしません。プリントをもらってすぐに名前を書くくせをつけておけば、大切な試験の時に「無記名で零点」ということを防げます。表紙をきちんと折ることで、教科書のページを進めたときに、境目の見え方が格段に違います。そんな理屈を携えて、「お節介だな」と思われても「どう、やってみない?」と話し掛け続けたいと思います。いくつか子供たちが大きくなったときに「そういういえば昔、言われたことあったっけ」と思い出してもらえように、今日も種をまきに行きます。

(副校長 平 裕子
久道 泰司)

7月の行事予定

1日	木	基礎なし・5時間授業 セーフティタイム 個人面談① わくわく保護者会
2日	金	学校公開 セーフティ教室
3日	土	土曜授業日 学校公開【月曜時程】 わくわく教室公開 セーフティ教室
4日	日	
5日	月	全校放送 委員会
6日	火	基礎なし・5時間授業 個人面談②
7日	水	下校時刻変更【13:15頃下校】 避難訓練
8日	木	基礎なし・5時間授業 個人面談③
9日	金	基礎なし・5時間授業 個人面談④ 5年夏季学園説明会
10日	土	
11日	日	
12日	月	全校放送 クラブ活動
13日	火	基礎なし・5時間授業 個人面談⑤
14日	水	
15日	木	基礎なし・5時間授業 個人面談⑥ わくわく教室1学期終
16日	金	基礎なし・5時間授業 個人面談⑦ 5年社会科見学 6年みなと科学館見学
17日	土	
18日	日	
19日	月	基礎なし・5時間授業 個人面談⑧ 給食終
20日	火	終業式 下校時刻変更【12:05完全下校】
21日	水	夏季休業始
22日	木	海の日
23日	金	スポーツの日/オリンピック開会式
24日	土	オリンピック観戦(1.5年)【有明アリーナ】
25日	日	オリンピック観戦(2.6年)【代々木競技場】
26日	月	夏季水泳教室4年 補習(1,2,3,5,6年)
27日	火	夏季水泳教室3年 補習(1,2,4,5,6年,わ)
28日	水	夏季水泳教室5.6年 補習(1,2,3,4年,わ)
29日	木	夏季水泳教室2年 補習(1,3,4,5,6年,わ)
30日	金	夏季水泳教室1年・わかば 補習(2,3,4,5,6年)
31日	土	

表彰

港南小学校 Twitter



港南小学校の日々の様子を
Twitterにアップしています。

ぜひご覧ください。

<港南小学校 アカウント>

@konaneschool



	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	25	217	225	223	224	236	216	1366

(6月28日現在)

6年生より

つなぐ人・思い・学び

最高学年としての一年がスタートして、三か月が経とうとしています。異学年との交流や行事等、なかなか例年通りにはいかない毎日ですが、その中でも子供たちは、学校のために自分の役割を果たそうという思いや、友達と協力して課題を解決していくという思いをもち、委員会活動や学級での活動等、自他共に関わり合って成長しようとする姿が見られます。

そのような子供たちの思いや、五月に行った豊かな心アンケートの結果、教師の願いをもとに、学年目標を設定しました。学年目標は、

「つなぐ人・思い・学び」です。六年間でお世話になった家族や地域の方や先生方、港南小学校の仲間、この六年間で学んできたことや経験したことなど、多くの思いを繋ぎ、一人一人が成長を実感できる一年間にしてほしいと思いを込めて設定しました。

三月、港南小学校での繋がりを胸に、立派に卒業式を迎えられるよう、担任一同、最後まで心を込めて指導してまいります。

(六年三組担任

難波 郁美)



高輪築堤見学

五月十八日(火)、六年生は高輪築堤見学に行きました。明治初期、日本で初めての鉄道が開業されました。その際、線路を敷設するために築かれた鉄道構造物が「高輪築堤」です。約百五十年前の土木技術がはつきり分かるという歴史的にも貴重な場所を見学できることに、子供たちもわくわくしていたように見えました。

昨年度は校外学習が実施できなかったのですが、子供たちにとっては久しぶりの校外学習となりました。片道約三十分の道のりを歩ききれるかどうかと心配もありましたが、子供たちは頑張って歩いていました。見学先では、港郷土資料館の方の詳しい説明を聞きながら、鉄道構造物の遺構を自分の目で見るという経験ができました。当時の様子がよく分かる美しい石積みを見て、「すごい」と口々に言っていました。

今後も、移動教室をはじめ様々な行事を実施する予定です。安全に十分配慮し、子供たちが実際に見たり聞いたりして学習できる機会を作っていきたいと思っています。

(六年二組担任 檜垣 史)



3年生より

初めての書写

三年生になり、書写の学習が始まりました。子供たちは書写の時間を楽しみにしていました。

道具の名前の確認が始まると、お習字を習っている子供たちが嬉しそうに教えてくれました。

筆をほぐす時には、筆が思いの外固いことを感じましたが、筆が割れてしまうことを恐れて優しく筆をほぐし、大切に扱おうとする姿が見られました。

初めてお習字をした子供たちの感想を紹介します。「『二』という画数の少ない漢字でも、筆で書くところんなにむずかしいことが分かりました。」「あまり上手に書けなかったから、次は上手に書きたいです。」

練習した半紙は家に持ち帰って「おうちの人に见せるんだ。」と大切に持ち帰った子もいました。

習字道具の準備や記名のご協力ありがとうございました。引き続きよろしく願っています。

(三年四組担任 酒井 百代)



運河の学習

総合的な学習の時間が始まりました。今年度の三年生は、運河のことを中心に調べていきます。

総合的な学習の時間で大切なことは自分たちで課題を作り、課題の解決に向けて自分たちで調べ、話し合い、最後は自分たちの学びを何かの形でまとめることです。

本校の特徴の一つは運河に囲まれていることです。わたしたちの生活のどこかに運河の存在は関係しているはず。三年生の学習の初めは自分が運河について知っていることを伝え合いました。そのあとで、運河に実際に行きました。今年度のキーワードは「はてな」です。運河についてのたくさんさんの「はてな」を「びっくり」(わかった!)にしようという児童はそれぞれ調べ活動をしています。これから運河についてそれぞれ調べたことを出し合い、個人で調べたことをグループの中で深めていく予定です。ぜひご家庭でも運河の話を話題にしてみてください。

(三年一組担任 盛裕 史)



サッカークラブ

クラブ紹介

ヨガクラブ

ヨガクラブでは、部長、副部長を中心に、四年生と五年生の少人数で活動しています。ヨガには古い歴史があり、古来より人々の心と体を癒してきました。教室にヨガマットを敷き、音楽を聴きながら体を伸ばしていくと、少しずつ心と体が整っていく感覚があります。ヨガについて知り、ゆっくりと呼吸を整えながら体を動かす時間は、児童にとってもほっとする時間のようなものです。

初回はリラックスヨガを中心にを行い、ヨガの気持ちよさを体感しました。二回目は、筋力を使うヨガに挑戦し、心地よい疲労感を感じる事ができました。これからもヨガを通して、児童が心休まる時間を過ごすことができれば幸いです。

(ヨガクラブ担当 漆崎 綾乃)

サッカークラブは、今年度三十八名で発足しました。サッカーを習っていて得意な子、習っていないけれど興味がある子、何よりもサッカーが大好きな子など、サッカーに対して様々な思いがある児童が集まりました。

第一回のクラブでは、みんなが「楽しい」と思えるクラブにしようと話合いました。

学年も、サッカーに対する思いや経験もバラバラなメンバーが、一年後に「サッカークラブは楽しかったな」と思ってもらえるように、クラブ長と相談しながら活動内容をサポートしていかれたらと思います。

残念ながら、四、五月の活動は雨が降ってしまい、まだみんながサッカーができていません。みんなが笑顔でボールを追いかけている姿を見ることが楽しみです。

(サッカークラブ担当 久保田 智洋)

陸上クラブ



陸上クラブでは、四年生十三名、五年生六名、六年生二十名の計三十九名で活動しています。クラブ長や六年生を中心に子供たちがどのような活動を行いたいのか話し合っ活動内容を計画し、走の運動や跳の運動などを月ごとに予定しています。

陸上クラブでは、自分自身の記録を伸ばすことだけでなく、子供たちだけで協力して楽しみながら活動に取り組んでいくことも目的としています。

陸上クラブで学ぶ自主性や協調性、異学年の友達と協力する大切さを普段の生活でも生かすことができるよう指導してまいります。

(陸上クラブ担当 小池 裕也)

ベースボールクラブ

ベースボールクラブでは、六年生を中心に4チームに分かれ、年間の活動内容を話し合っ決めました。意見として多かったのがティーボール、次にハンドベイスボールでした。野球を習っている子もいれば、未経験者もいるため、まずはルール理解を中心にゲームをする予定です。打つ楽しさ、ボールを投げる楽しさを味わって、みんなで楽しくゲームができるよう、指導していきます。

(ベースボールクラブ担当

大久保 勝国)



音楽クラブ

音楽クラブは四、五年生七名で活動しています。今年度は管楽器の演奏に限らず、音楽の授業でも使用する楽器を使って合奏したり、音楽を聴いたり、幅広く活動する予定です。初回のクラブでは早速合奏する曲目を決め練習を始めました。

今、練習に取り組んでいる曲は、港南小学校の「校歌」と五十五周年記念

歌「いつまでも」です。

クラブ全員で音も心も合わせ演奏していきたいと思えます。

(音楽クラブ担当

柿島 沙織)



わくわく教室紹介

わくわく教室が移動して三ヶ月が経ち、新しい教室での活動も定着してきました。わくわく教室では、子ども達が各々の学級で自信をもって生活できるように「自立活動」の指導を行っています。

例えば、人とのやり取りの中で場面や相手に応じた言葉遣いや表現方法を身に付ける練習、自分に合った感情のコントロール方法や集中の仕方の練習など、各々の課題に合わせて指導内容を組み立てています。

なお、令和四年度のわくわく教室・学習支援員の利用申請希望メ切が九月末頃となっています。お子様の成長で気になることがある際は、お早めにご相談ください。

(わくわく教室 山崎 葉子)